

# 子どもたちの学習支援活動 平成18年度へのスタート!!



学童支援の現状について報告する支援者たち

## 西区の櫛谷小学校 支援者

仲井廣子(一般)



自分が永年やってきたことで少しでもお役に立つ場があるのならと思い、家からも近いことだからと活動を始めました。

3,4年生の算数、その後5年生にも、中学校に進んだときの刺戟に耐えられるよう計算力、集中力を付けるのが、学校のチャレンジタイムのねらいです。生々として子どもたちは頑張っています。私も子どもたちから元気をもらってよかったと思っています。

## 市民にカレッジの存在感が

KSC 総務課長 明石 照久

学習支援活動は皆様方のご努力によりまして、順調に推移しているということで、私ども事務局といたしまして非常にありがたくうれしく存じています。先日の卒業式で学長よりのお話にもありましたが在校中、卒業後もボランティア活動に頑張っており、特に学習支援や地域交流活動、通学路の見守りなどにより、市民の方々にカレッジの存在感が見えるようになってきたと実感しております。ひとえに皆様方の地道なご活動の成果であると感謝しています。

## 第3回学習支援活動登録者のつどいを開催(3月22日)

平成17年度の1年間に学習支援した学童数は14,532人になりました。

### 特別支援活動にあたって

KSC 教務係長 宮本 文子

皆様方には17年度から子どもたちの学習支援活動を始めて頂きまして、お世話になりました沢山の小学校になり代わりましてお礼を申し上げます。特別支援教育について学校現場では大変苦戦しておられます。昔は特殊教育、その後障害児教育、今は特別支援教育と変化してまいりました。

多動の子どもや普段生活がきちんとして来ていても勉強には入っていけない学習障害児など様々な障害をも

っている子どもたちの特別支援教育の補助をして下さいという要請です。

いままで補助を試みながらうまく行かなかった例が時にあったようですが、それは支援者が熱心の余りこうしたら良いのでは、と考えて当たられることが、却って逆効果になったのではないかと思います。

たとえ反応がなくても子どもたちは支援者の思いは感じ取っているものです。担当の先生のいわれた通りに、補助して頂ければありがたいです。その子どもの立場にたって安心感を持たせてあげて下さい。

## 神戸市各小学校・養護学校長様

### グループわ

### 平成18年度の学習支援申込方法について

シルバーカレッジの卒業生・現学生を中心としたNPO法人グループわは、平成17年6月に『子どもたちの学習支援活動』を立ち上げました。(平成17年度2学期活動一覧表をご覧ください) 18年度も下記要綱にて『子どもたちの学習支援活動』を実施いたしますので、支援をご希望の場合はどうぞお申してください。

記

- 1.対象・支援期間 神戸市立各小・養護学校 年間を通じて必要な時期に支援  
なお、平成18年度1学期からの支援希望については、  
第1次3月20日(月)までに 第2次4月20日(木)  
までに、その後は随時要請書にてご連絡ください。
- 2.学習支援者 NPO法人グループわ『子どもたちの学習支援活動登録者』
- 3.申込方法 支援を希望する学校は「子どもたちの学習支援要請書」に  
必要事項を記入し、グループわ本部へFAXまたは郵送。
- 4.コーディネート 要請校の連絡を受けてグループわの担当理事が当該校に  
出向き、要請の詳細や条件を確認し、最適と思われる登録会  
員へ連絡する。担当理事が両者の合意を確認し、さらに登録  
会員があらかじめ学校と打ち合わせの上活動に入る。

## 垂水区の東垂水 小学校支援者

林和男(国8期)



子どもたちをより良く育てるための講演などを聞きましたが、自分の眼できちんと見てみたい気持ちで、6年生の学習、生活補助活動を続けてきました。

三学期に入ってからには子どもが良く馴染んでくれますし、お母さんからの喜びの声も耳にしました。中学へスムーズに入っていけるよう卓球を始めました。いつまでも続けてほしいと願っていたところ、進学先の担当の先生が卓球をされるのが分り、早々からやっているようです。

この4月からは車椅子の新1年生を補助してあげたいと考えています。